

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
1月17日発行 NO.30
文責 出崎 友英

周りから学ぶこと

私たちは日頃、集団の中で学んでいます。そしてお互いが関わり合い、影響を与え合いながら成長しています。今回は静岡県の高校生、内藤月海さんの作文を紹介します。

「絵は一人で上達するものじゃない」 内藤月海

信じられない気持ちと、ほこらしさを感じていた。中学校の部活動で初めて入賞したときのことだ。

私が所属していた美術部の大会は3年間で計4回ある。1年生の大会は秋にあるため、入部してから練習の時間は充分にあった。結果が書かれた紙を先生が読み上げ、名前を呼ばれた人は前に出る。

しかし、その中に私の名前はなかった。同じ学年の友人はほとんどが呼ばれている。一方私は座って拍手をし、入賞者を祝う側にいた。「きっと入賞している」と声をかけ合った友人の名前もあり、とても悔しさを感じてしまった。

それから、次の夏の大会に向けて自分の絵と向き合う日々が始まった。どこをどうしたらよかったのか、どうすれば決められた時間内により技術の高い絵を描けるのか、考え続けた。しかし一向に上達せず、焦る私の前に、進級の時期はすぐにやってきた。➤

そんなあるとき、一人で上達しようと躍起になっていた私に、先生が言った。

「周りの人の絵を見て技術を取り入れるのも練習だよ」

私ははっとした。絵は一人で描くものだが、一人で上達するものではなかったのだ。「個人戦ではなく団体戦」という言葉を思い出していた。

先生から言われた通り、みんなの絵と自分の絵を比べてみると、どうすればよくなるかがすぐにわかった。上達しない日々は終わった。絵をほめられることも増え、上達していることを実感した。そして迎えた、夏の大会の結果発表。その中には、しっかりと私の名前があった。それまでの努力が報われたようだった。

そんな経験をした私は「失敗は成功のもと」だということ、だれよりも実感している。もちろん、どう成功につながるかは、その人次第だと思う。しかし、悔しい思いを経験できた私は、いつまでも嘆いたり、一人で考え込んだりするよりも前にできることがあると知った。これからも、それを忘れずに生きていきたいと思う。

(第7回PHP作文甲子園 優秀賞受賞作)

あなたの周りにいる人たちの姿から、学ぶことがたくさんあるのだと思います。「学ぶことはまねること」という言葉もあります。周りの人のよさを積極的に取り入れましょう。



面接指導がありました。

1月15日(水)、3年生の「面接指導」がありました。

6人の元校長先生方を面接官としてお迎えして、3年生が模擬面接に挑みました。生徒たちは本番さながらの緊張感の中で、質問にしっかりと受け答えしていました。

この時間に学んだことを生かして、きっと入試本番はバッチリできることだと思います。元校長先生方、ご多用な中にご来校いただき、ご指導ありがとうございました。



◆お知らせです。

○先日、地域のお住いの方より「買い物帰りで荷物を持ちながら歩いていたら、下校中の錦ヶ丘中の生徒4人が『(荷物を)持ちましょうか?』と気遣う言葉をかけてくれて、自宅の近くまで一緒に歩いてくれて、とても感激しました。」というお礼の電話がありました。良いことだと思っても声をかけたり実行したりするのは、とても勇気がいることだと思います。また、こうして学校にお知らせ頂いたことも、とてもありがたく思います。勇気を出して行動した4人の生徒の皆さん、お電話いただいた地域の方、ありがとうございました。

○この度、本校の○○○○先生が令和6年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受けられました。

これは、○○先生のこれまでの保健体育や生徒指導における取組や生徒、保護者との丁寧な関わりなどが高く評価され、今回の栄えある受賞となりました。○○先生、おめでとうございます。



自分を元気づける一番良い方法は、誰か他の人を元気づけてあげることだ。

「先生のコトバ集」よ